

二〇二二年度 入学試験問題

国 語

第二回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから六ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一

——(1)「もっと多様な経験をして、多様な人と出会い、さまざまな活動に積極的に取り組んだ人の方が頼りになる」とありますが、それはなぜですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問二 — (2) 「しばしば言われるように、学びも生涯にわたるものとなるのです。」とありますが、これは現在あるいは将来の学びのあり方を述べたものです。では、かつて学びはどのようなものと考えられていましたか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問三 — (3) 「外の社会との結びつき」とありますが、これについて述べたものとしてふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 大学では社会における他の領域との結びつきが強くなり、国内外の研究機関だけでなく、高校など学校間で連携することも増えている。

イ 大学では学習や研究活動だけでなく、ボランティアを通して企業と関わり将来のキャリアについて考えることができるようになってきている。

ウ 大学では海外からの留学生が増えて多国籍化しており、海外の教育機関との交流も増えたため日本から留学する必要性がなくなりつつある。

エ 大学では環境問題をはじめとする学部や専門の域を超えた研究が増えたため、企業など異なる領域とも連携するようになってきている。

問四 — (4) 「教養」とありますが、筆者の考える教養とはどのようなものですか。解答らんに五十字以内で説明しなさい。

問五 — (5) 「遣伝子組み換え食品の例」とありますが、この具体例を通して筆者が述べたいことは何ですか。ふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 専門化が進む現代において求められるのは、ある事象を多角的な視点でとらえ、専門性の垣根を越えたコミュニティと関連させる力であるということ。

イ 一つの事例を検討するだけでも、消費者、生産者、その周辺地域に住む人々など様々な立場の人がいて、関係するすべての人の希望を受け入れる必要があるということ。

ウ 職業が専門的になるあまり、人々は自分の帰属する分野や組織ばかりに目を向けてしまい、他者の不満や不安を無視してしまうということ。

エ 現代社会では、多様な人と対話することによって立場の異なる他者と交流をもつことができるため、中学校や高等学校でその力を身につけるべきだということ。

問六

A	～	D
---	---	---

 に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア しかし イ したがって ウ すなわち エ たとえば

問七 — (ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八 本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これから人間同士がしつかりとした人間関係を築くためには、土地や宗教、職業といった自分の帰属する集団に積極的に関わろうとすることが重要である。

イ 現代では「エリート」の価値観が変化しており、優秀な学校に入学生安定した就職先を選ぶこと自体にもはや価値を見出すことはできないとされている。

ウ 研究においては、たくさんの知識を身につけることへの姿勢が重要になるため、今後大学では入学者に探究に対する積極的な意欲と態度を求めるようになると考えられる。

エ 取り立てて珍しい体験をしていなくても、日常の中で自分の身の回りに問題意識を向け、積極的に活動することが社会で活躍するチャンスにつながる。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一

——(1)「海軍」とありますが、「海」や「軍事」に関連する語を使った次の一〜五の成句の意味を、後の「意味」ア〜オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

一 井の中のかわず大海を知らず

二 勝つてかぶとの緒をしめよ

三 軍門にくだる

四 船をこぐ

五 渡りに船

「意味」

ア いねむりをする。

イ 戦いに負けて相手の言うとおりになる。

ウ 広い世の中のことを知らずに考えがせまい。

エ 都合のいいことにちように出会う。

オ 成功しても気をゆるめてはいけない。

問二

——(2)「お姉ちゃんとあの映画のヒロインが重なって見えた。」とありますが、どのような点で重なって見えたのですか。「という点。」に続くように文中から十字以内で抜き出しなさい。

問三

——(3)「さつき見た見たポスターは、ジェンダーレスを呼びかけていたんだ。」とありますが、どのようなポスターだと推測できますか。「ジェンダー」あるいはこれを含む語は用いず、解答らんに二行以内で説明しなさい。

問四

——(4)「胸のかたまりが、溶けていく気がした。」とありますが、どういうことですか。解答らんに六十字以内で説明しなさい。

問五

——(5)「詩音の胸もシクツとした。」とありますが、このときの詩音の気持ちの説明としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 詩音だけでなく、高校生の姉までも坊主になったことで傷ついた両親の心を思い、罪悪感を覚えた。

イ 女子が坊主になることを詩音の学校はまったく歓迎していないと思いきらされ、シヨックで落ちこんだ。

ウ 詩音と姉の二人が坊主になっていて、動揺している両親を思いやり、つらい気持ちになった。

エ 自分の意志で坊主になったのに、両親は誰かに強制されたと誤解したことで、悲しい気持ちになった。

問六

——(6)「自分のしていることが、なんの役にも立っていない気がした。」とありますが、どうして詩音はこのように思うのですか。「自分のしていること」が何かわかるようにしつつ、解答らんに二行以内で説明しなさい。

問七

A ～ D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア さちんと イ ポンポンと ウ そつと エ しぶしぶと

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 詩音の姉が坊主になったのは、自分の学校の校則に納得ができないことが動機であったが、それはジエンダーともかわる事柄であった。

イ 詩音は姉から、ジエンダーレスとはもとの性とはちがう行動や髪形をすることだと教えられ、自分たちの行動がジエンダーレスと関係があると思った。

ウ 詩音が坊主になったのは、姉の影響もあるが、以前にテレビで見た、アメリカ海軍の特殊部隊を描いた映画のヒロインにあこがれたためでもあった。

エ 詩音の姉は、詩音が坊主になったとき怒ったのだが、詩音の気持ちもわかったので、すぐに怒ったことをわび、礼を言った。

